

合同治山技術現地検討・勉強会を開催しました。

令和5年8月1日（火）～2日（水）の日程で、下北地域県民局・青森森林管理署・岩手南部森林管理署・山形森林管理署最上支署・下北森林管理署の職員18名が参加して治山技術の現地検討・勉強会を開催しました。

現地検討・勉強会では令和3年の豪雨災害の緊急治山工事についての概要説明を行った後、現地で確認するテーマについて提起しました。

実際の工事現場で行った現場検証では監督職員からの問題提起に対して、各署での対応事例の紹介や改善方法の提案などがあり活発な意見交換ができました。また、若手職員の様々な質問が、経験のある職員にも改めて勉強を促す良い機会となりました。

1日目の最後は下北森林管理署に場所を移して、令和3年の災害発生時に下北地域県民局で実際に行った地元対応について紹介していただきました。民有林行政では個人所有者の意見・要望が大事にされるので被災直後の対応がとても重要になることが紹介されました。

2日目は現地検証の結果について取りまとめを行い、災害発生時の初動対応の重要性や、地元調整の重要性などについて確認しました。

当署としては、災害発生個所の早期復旧に継続して取り組んでいくとともに、適切な情報発信に取り組んでいきたいと考えております。



